



給食だより



平成31年3月号
 中野区立上鷲宮小学校
 校長 堀 聡明
 栄養教諭 菅野 幸

いよいよ1年間のまとめの時期になりました。みなさんは、給食を通してこの1年間でいろいろな「食」についての経験をしてきました。4月からの新しいスタートの前に、給食を通して学んだことをふり返ってみましょう。

* 1年間の給食をふり返ろう

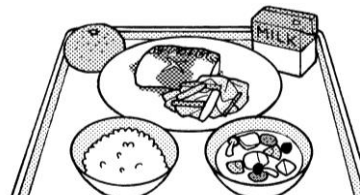
できたもの(わかったもの)は○、時々できたもの(少しわかったもの)は△、できなかったもの(わからなかったもの)は×を○で囲みましょう。

食事マナーを守って、楽しく食べることができた。



○
△
×

好き嫌いなく何でも食べることができた。



○
△
×

給食の前に石けんを使って、しっかりと手洗いができた。



○
△
×

空気の入れかえや、ごみ拾いなどをして食事環境をととのえた。



○
△
×

季節の旬の食材や行事食、郷土食を知ることができた。



○
△
×

感謝の気持ちを持って食べることができた。



○
△
×

3.11 東日本大震災から8年

8年前の3月11日、東日本大震災が起こり、多くの人の尊い命が奪われました。津波によって、とても多くの大きい被害がありました。震災直後は地震と停電で工場を動かすことができなくなったり、道路が寸断されて物資を運ぶことができなくなりました。それにより多くの学校で、給食が中止となったり、パンと牛乳だけの給食ということもありました。しばらくして、温かい通常の給食が再開されると、それを前に子どもたちは大喜びでした。温かいスープを一口飲んだ子どもたちからの、「美味しい!」という声が今でも忘れられません。

今でも、毎日の給食には、みなさんの健康と成長、そして幸せを願う人たちの思いがたくさん込められています。その温かい心をしっかり受け止め、いつも感謝していただきましょう。

